橿原市のまちづくりについて

平成２７年３月２０日

橿　原　市

まちづくりの方向性

地域の資源や特性を活かし、観光・交通・医療等のそれぞれの取組が有機的につながり、中南和地域の拠点として、その効果が広域圏にも広がるような「まちづくり」を目指す。

（１）中南和地域の拠点都市にふさわしい都市機能を備えた中心市街地の形成

【大和八木駅周辺地区】

（２）医大および附属病院を核とする新しい都市拠点「橿原キャンパスタウン」の形成

【医大周辺地区】

（３）飛鳥観光の玄関口にふさわしい空間や機能の整備

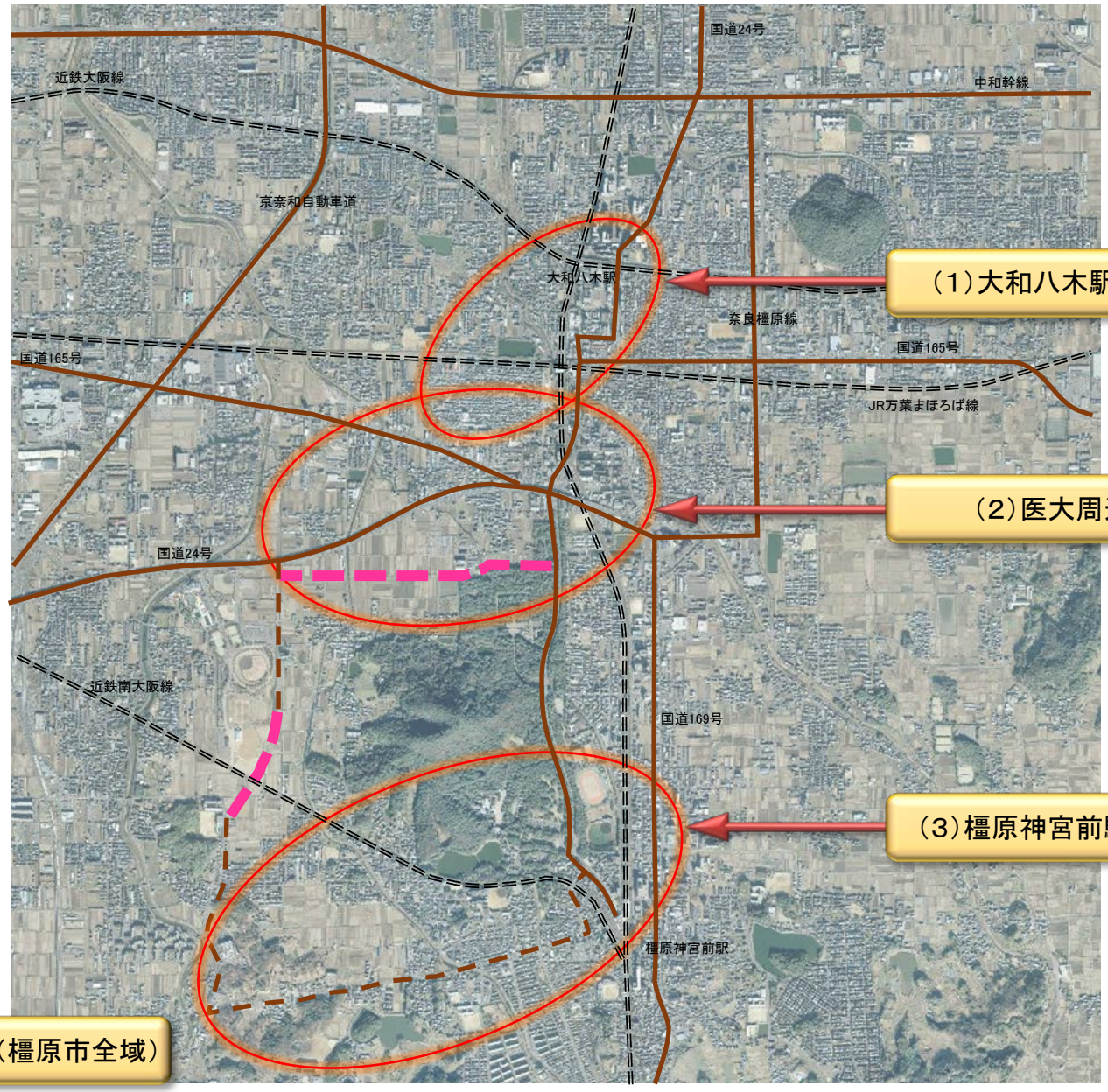
【橿原神宮前駅周辺地区】

＊地域公共交通の再編

【橿原市全域】

（具体的な取組み内容については、各関係機関との諸調整は必要）

対象となる地区



（1）大和八木駅周辺地区

（2）医大周辺地区

（3）橿原神宮前駅周辺地区

＊地域公共交通の再編（橿原市全域）

（１）大和八木駅周辺地区のまちづくり

＜まちづくり構想立案の背景＞

- 社会情勢や周辺環境の変化に応じた駅周辺の再整備が必要
- 大和八木駅南側の「複合施設」が平成３０年４月にオープン予定

＜まちづくりのコンセプト＞

- 中南和地域の拠点都市にふさわしい都市機能を備えた中心市街地の形成
- 近代的な都市機能と、伝統的な歴史的景観との共存および融合

＜目指す将来ビジョン＞

- 中南和の「玄関口」にふさわしい拠点づくり
- 賑わい事業の創出と地域の交流による魅力ある駅前空間づくり

＜検討予定の基盤となる取組＞

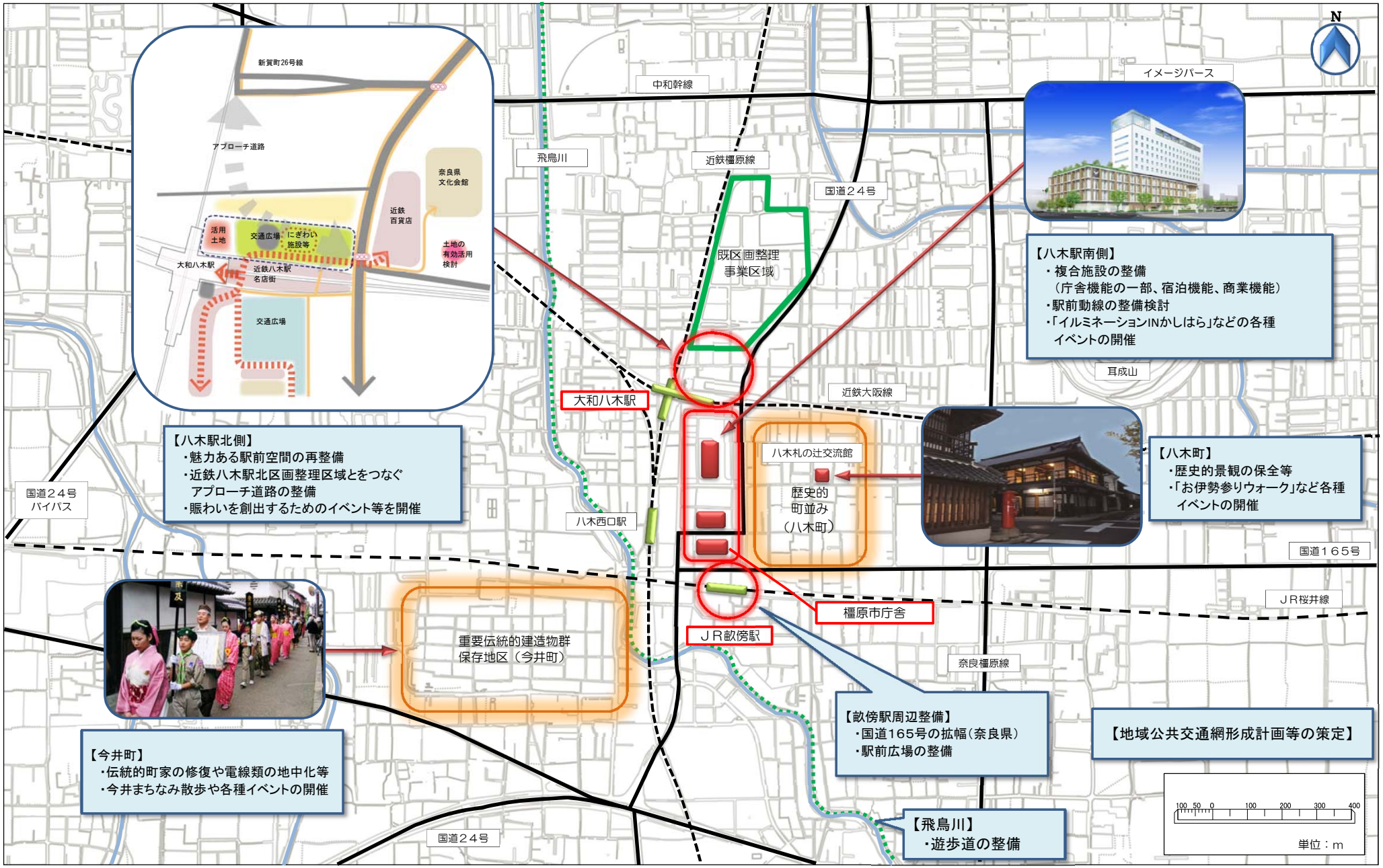
【八木駅南側】
- 複合施設の整備（庁舎機能の一部、宿泊機能、商業機能）

【八木駅北側】
- 魅力ある駅前空間の再整備
- 近鉄八木駅北土地区画整理区域とをつなぐアプローチ道路の整備

【八木町、今井町】
- 空家化した伝統的町家の修復および利活用
- 電線類の地中化等による景観保全

【市内全域】
- 地域公共交通網形成計画等の策定
- 各種イベントの開催による賑わいづくりの創出

大和八木駅周辺地区まちづくりの考え方（案）



（２）医大周辺地区のまちづくり

＜まちづくり構想立案の背景＞

- 奈良県立医科大学のキャンパス移転と、附属病院の再整備
- 重要伝統的建造物群保存地区に選定されている「今井町」では、空き家の増加や町家の損傷が進み、安全対策や景観の保全が課題

＜まちづくりのコンセプト＞

- 医大および附属病院を核とする「橿原キャンパスタウン」の形成

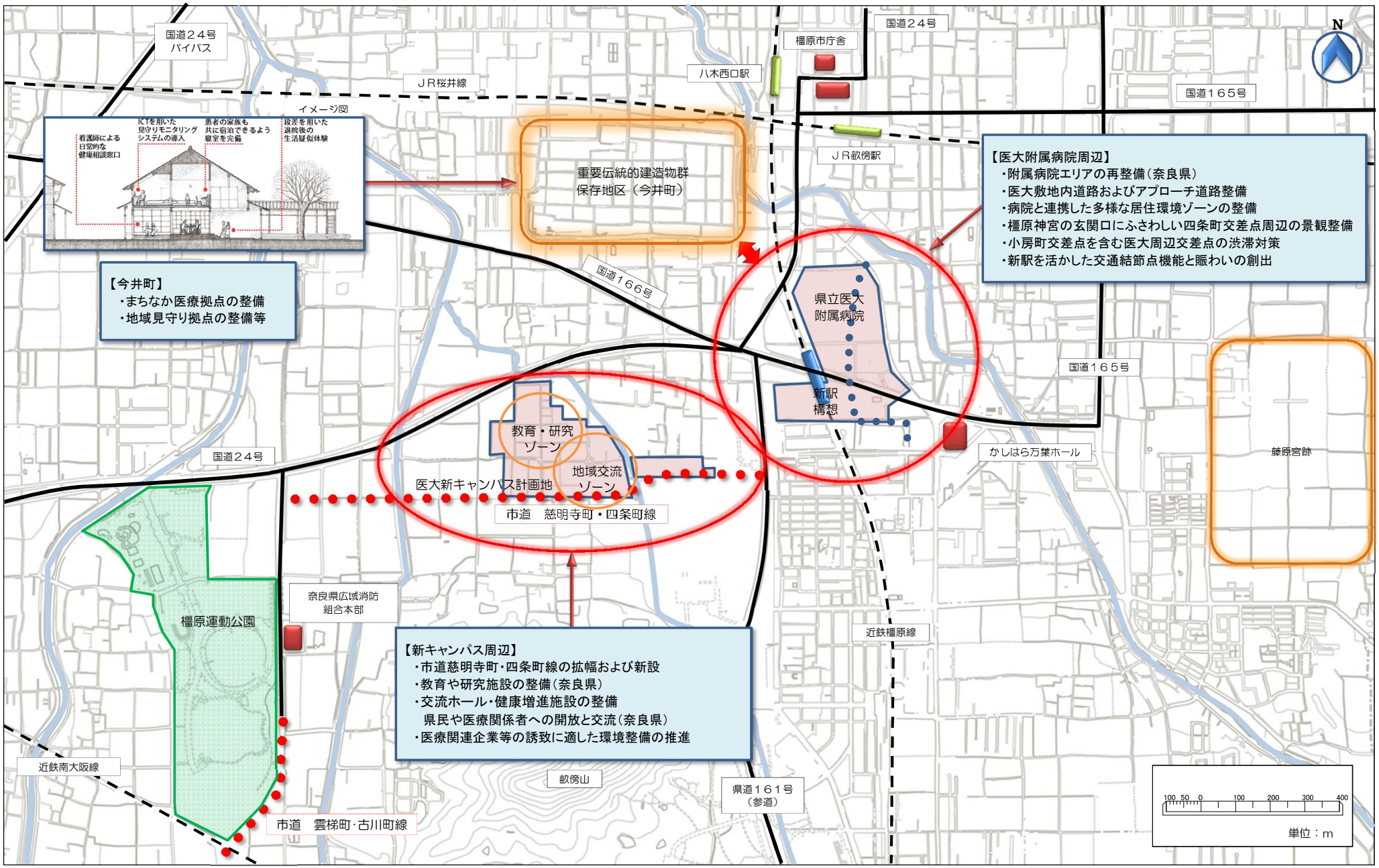
＜目指す将来ビジョン＞

- 医療拠点の立地を活かした多様な居住環境の実現
- 医大の新キャンパスに設置される地域交流ゾーンでの県民や医療関係者の交流
- ICT技術の活用
- 近鉄による新駅設置に伴う新たな交通結節点の創出

＜検討予定の基盤となる取組＞

- 附属病院と新キャンパス間の道路整備
- 医大の新キャンパス整備（教育・研究施設整備）【奈良県】
- 附属病院エリアの再整備【奈良県】
- 空き家化した町家を活用した「医療や見守り」拠点などの整備
- 附属病院と連携した医療・福祉等関連施設の整備
- 近鉄による新駅整備の推進

医大周辺地区まちづくりの考え方（案）



（３）橿原神宮前駅周辺地区のまちづくり

＜まちづくり構想立案の背景＞

- 平成２７年度中に、「県道橿原神宮東口停車場飛鳥線」が開通
- 平成２８年度中に、新沢千塚古墳群公園のオープンや「飛鳥ーキトラ２０１６ー」「神武天皇二千六百年大祭」が開催

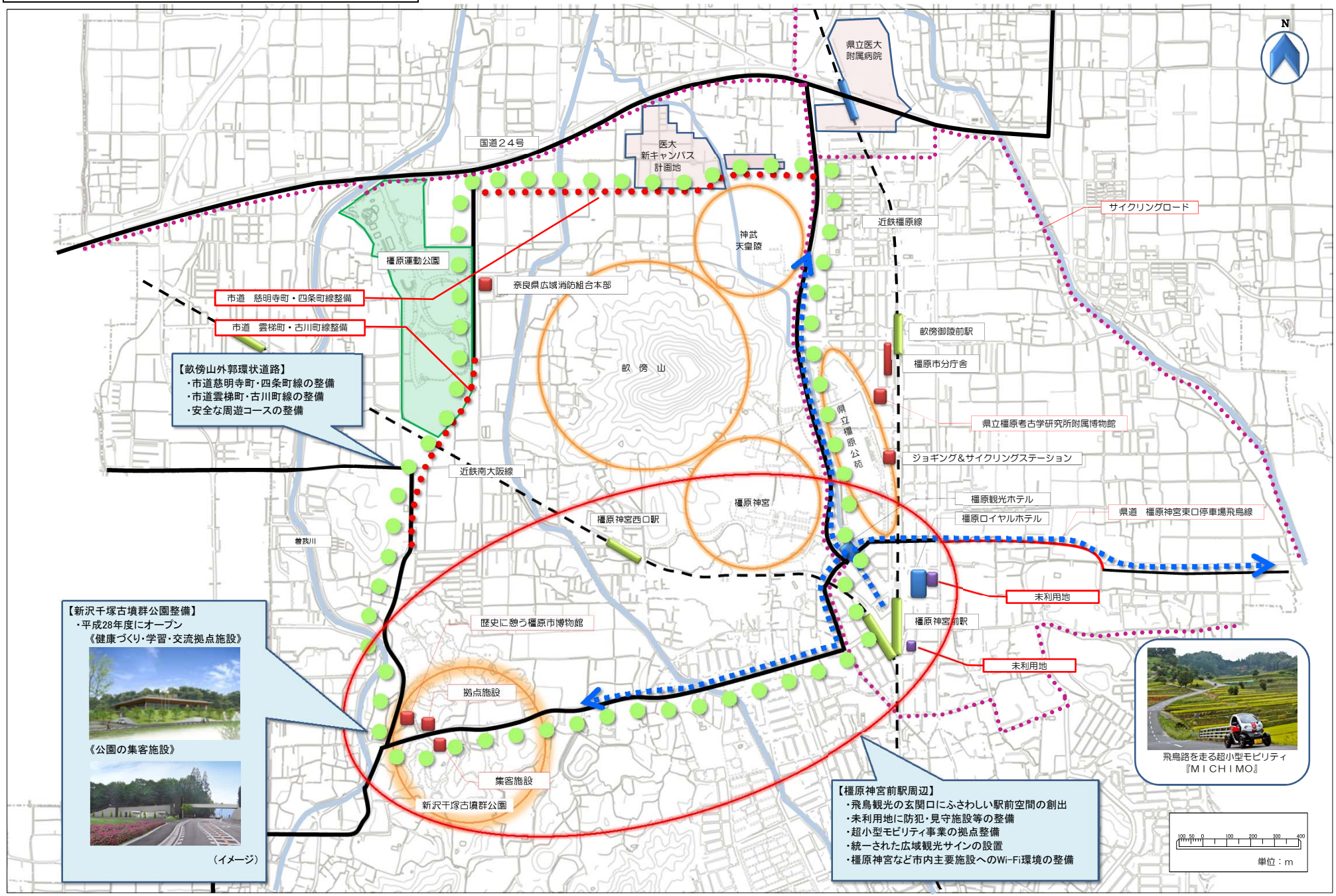
＜まちづくりのコンセプト＞

- 飛鳥観光の玄関口にふさわしい駅前空間の創出

＜目指す将来ビジョン＞

- 飛鳥地方や橿原神宮への玄関口としての賑わいの創出
- 市南部の交通結節点としての機能の強化

＜検討予定の基盤となる取組＞

- 「新沢千塚古墳群公園」の整備
- 「畝傍山外郭環状道路」の整備
- 防犯や見守り機能施設等の整備
- 超小型モビリティ事業の拠点整備
- 統一された広域観光サインの設置
- 橿原神宮など市内主要施設へのWi-Fi環境の整備

橿原神宮前駅周辺地区の考え方（案）